

### 地獄の後は天国や

三月二十九日 日曜日 地獄の後は天国や

七時半起床。

腹がへってる。

へっていないなかったら、  
誰も起き上がらなくても  
不思議ではない。

一人、二人と、時間ぎりぎりまで、  
起き上がる。

皆で、ソロソロと眠い顔をこすりながら、  
学校のそばのたばこ屋へ朝めし食べに行く。

ご主人に、おかみさんと、家の娘さんが、  
せつせと、用意してくれている。

「今日は、お早いでんなあ。」  
「はあ、おなかへって、寝てられまへんねえ。」  
「ちょっと、待っておくれやすや。」  
「すぐ、できますよって。」

朝めしはうまい。

食べ終わり、たばこ屋から、再び、和室に戻る。  
今度は僕一人、大きな食堂のやかん持って、  
たばこ屋へ、茶をもらいに行く。